



2008（平成20）年8月15日

各 位

会社名 生化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 水谷 建
（コード番号4548 東証第一部）
問合せ先 総務部IR・広報室長 鳥居美香子
（TEL. 03-5220-8950）

抗関節リウマチ剤「SI-615」の第I相臨床試験開始に関するお知らせ

生化学工業株式会社（本社：東京都千代田区、社長：水谷 建）は、抗関節リウマチ剤として開発中の「SI-615」について、健康成人男性を対象とする日本における第I相臨床試験を開始しますので、お知らせします。

「SI-615」は、炎症局所で高レベルに発現するアデノシンA3受容体に選択的に働きかける化合物です。炎症の発症に関与する細胞内情報伝達や炎症性サイトカインの産生を抑制する作用が考えられており、アデノシンA3レセプターアゴニストという新規のメカニズムを有する安全性の高い抗関節リウマチ剤となることが期待されます。生化学工業は、2006年9月にキャンファイト バイオファーマ社（本社：イスラエル ペタク・ティクヴァ、CEO：プニーナ フィッシュマン、以下「Can-Fite社」）から、同剤の日本における炎症性疾患（眼科領域を除く）を適応とした開発・製剤製造・販売権およびサブライセンス権を取得し、その後、自社による前臨床試験を進めてきました。なお、Can-Fite社では、現在、欧州・イスラエルにおいて関節リウマチ患者を対象とした後期第II相臨床試験を行っています。

生化学工業は、複合糖質および関節疾患に重点をおいた自社開発や、炎症、免疫、アレルギー領域を目標疾患とするインライセンス活動により早期の新薬開発に努めています。「SI-615」の開発を通じて、生化学工業の関節疾患治療領域における事業基盤を強化させるとともに、関節リウマチ治療の新しい選択肢を広げることで患者の皆さまのQOL（生活の質）の向上に貢献できることを期待しています。

以上

*ご参考「関節リウマチ」

代表的な自己免疫疾患であり、免疫機構の異常により、慢性かつ多発性に関節部位に炎症がおこり、腫れや強い痛みを発症します。炎症が進行すると関節の軟骨部分や靭帯、さらには骨そのものが破壊され、関節の変形と機能障害が起こります。日本では50～70万人が罹患しており、発症時期は30～50歳代に多く、女性の患者の方が男性の3倍以上とされています。

本件に関するお問い合わせは次にお願ひします。

生化学工業株式会社 総務部IR・広報室

鳥居・田中 TEL. 03-5220-8950